

健康診断の検査項目について

Vol.5

健康診断でよく行われる検査項目について、その働き・基準範囲・疑われる疾患などを解説していきます。

〔肝機能検査②〕

肝臓は「沈黙の臓器」とも呼ばれ、トラブルがあっても症状があらわれにくく、知らない間に病気が進行していきます。その異常をいち早く発見するための検査です。

コリンエステラーゼ (ChE)

基準範囲：180～500 IU/L

肝臓で作られる酵素。肝機能低下にともない低値となる。

高値・・・脂肪肝・ネフローゼ症候群など

低値・・・肝炎・肝硬変・肝がん・低栄養症など

アルカリ性フォスファターゼ (ALP)

基準範囲：110～330 IU/L

主に肝臓・骨・腸でつくられる酵素。胆汁が流れる経路に異常があると血液中に増加する。

高値・・・肝炎・黄疸・肝がんなど

総ビリルビン (T-Bil)

基準範囲：0.10～1.50 mg/dℓ

赤血球が寿命を終え、黄色く変化したもの。肝臓などでつくられるため胆汁の流れが悪くなると血液中に増える。

高値・・・肝炎・肝硬変・肝がん・胆石・胆がん・溶血性貧血など

藤枝健診センター健診検査課主任 高田 雅紀

協会創立記念講演会兼第20回産業保健セミナーを開催

「静岡県予防医学協会創立記念講演会兼第20回産業保健セミナー」を、本年3月10日に静岡県男女共同参画センター「あざれあ」で開催しました。講師には、東京メンタルヘルス所長の武藤清栄先生をお迎えし、「今どきのメンタルヘルスーその現状と対応ー」と題して講演いただきました。

今回の講演では、県内各地の市町や事業所の保健衛生関係者、当協会職員など220人が受講しましたが、武藤先生は、壇上で講話するだけでなく、降壇して参加者に直接質問を投げかけたり、全員で精神状態チェックテストを行うなど、受講者目線に立った充実した内容になっていて、皆さん熱心に耳を傾けていました。

平成27年に東京メンタルヘルスが行った調査によると、現代社会で働く人々の傾向として、「自己表現・自己主張が苦手である」「批判や非難を受けるのが怖い」という2点が挙げられた。これらの傾向は周りの人との信頼関係を築きにくくしてしまうため、孤立感を感じるようになり、次第にストレスが溜まっていくという。

では、ストレスを抱えている人にとって必要なことは何か。それは、ストレスの発生源に気づくことと、リジエンスを高めることであり、特に後者について詳しいお話がありました。リジエンスとは「回復力」「逆境力」「耐久力」等と訳され、困難を乗り越えていく力のことを指している。リジエンスを高めるためには、自尊感情を大切にすることや、チェックリストを用いて自分の精神状態や適応力（仕事や人間関係ができること）を把握し、必要であればカウンセリングを受けること、また周りに理解者やサポーターがいること等が大切だという。そしてストレスを抱えている人に接する側としては、相手の話を受け止め、同調し、常に肯定的に聞くようにすることが必要だとのお話もありました。

現代社会に生きる私たちにとって、ストレスを全く感じずに生活することは不可能に近いのかもしれないが、少しでもストレスを減らしたいと考える人は多いはず。しかしストレスの発散方法がわからない人や、ストレスを抱えている人にどう接すれば良いか悩む人もまた多いだろうと思います。そんな人々にとって、リジエンスを高めてストレスに負けない力を身に着けるとともに、ストレスと上手く付き合っていく方法を探していくことも重要ではないかと感じました。



施設名称変更のお知らせ

当協会の西部検査所および東部事務所について、本年4月1日より下記のとおり名称変更いたしました。なお、所在地・電話番号等は変更ありません。

＜新名称＞ 浜松健診センター (旧名称 西部検査所)
沼津事務所 (旧名称 東部事務所)

静岡県予防医学協会 総合健診センター

ヘルスポートだより

新規オプション検査のご案内

ヘルスポートでは、平成29年度から、遺伝子レベルを検査してタイプ別にかかりやすい疾患のリスクを調べる「アルコール分解酵素遺伝子検査」と、消化器のがんに対して遺伝子レベルで検査する「マイクロアレイ検査」の2つの新しいオプション検査を導入しています。ご予約の際にぜひご検討ください。

【アルコール分解酵素遺伝子検査】

お酒（アルコール）に強い・弱いは遺伝子によって決められています。遺伝子検査で自分のタイプを調べてみてはいかがでしょうか？

◎アルコール分解酵素遺伝子検査とは

「アルコール脱水素酵素 ADH1B遺伝子」と「アルデヒド脱水素酵素 ALDH2遺伝子」の2項目を測定します。それぞれの遺伝子型の組み合わせにより、アルコール依存症になりやすいタイプや食道がんのリスクが高いタイプがわかります。

＊「アルコール脱水素酵素 ADH1B遺伝子」

…ほろ酔いの原因物質であるアルコールをアセトアルデヒドに分解する遺伝子

＊「アルデヒド脱水分解酵素 ALDH2遺伝子」

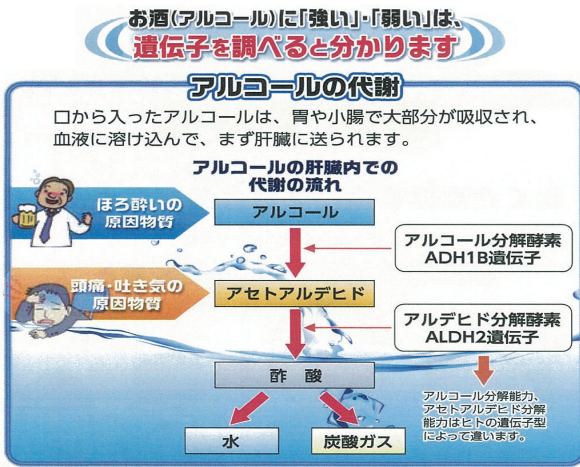
…飲酒による不快な反応の原因物質であるアセトアルデヒドを分解する遺伝子

◎検査方法

口腔内の粘膜を専用の綿棒で採取するだけの簡単な検査方法です。

◎こんな方におすすめ

- 晩酌をされる方
- 二日酔い、悪酔いをする方
- 仕事でよくお酒を飲まれる方



【マイクロアレイ検査】

血液検査でがんの早期発見につなげてみませんか？

◎マイクロアレイ検査とは

マイクロアレイ検査は、がんになりやすいかどうかのリスク分析ではなく、既になんがあることを判別する検査です。がんなどに対する体の反応を遺伝子レベルで測定します。

従来の腫瘍マーカーとは異なり、発がん等による体内環境変化をいち早く免疫細胞が感知することを捉え、がんの存在を判定するものです。血液ががん細胞に反応する状況を世界で初めて遺伝子レベルで捉えることができるようになりました。これを利用し、開発されたのがマイクロアレイ血液検査です。

◎マイクロアレイ検査の特徴

①高い感度

消化器のがんに対して9割の高い感度を示しています。＊早期がんの検出も可能

②同時に4つのがんについて検査ができます。

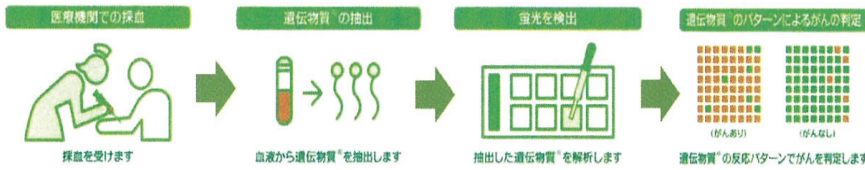
大腸がん・胃がん・膵臓がん・胆道がんが検査の対象となり、一度の採血で検査が可能です。

③安心・簡単な検査方法

血液を5ml採取するだけで、薬剤の投与やX線被ばくもなく、受診者への負担が少ない検査です。

＊日本では、男性は2人に1人、女性は3人に1人ががんにかかると言われています。病気や健康に関心が高くても、検診を自発的に受けることが少ないことが課題となっています。

検診でがんを早期発見することは、がんによる死亡率を減少させるだけではなく、治療後の生活の質を高めるためにも大変重要です。



ヘルスポート内で、「Wi-Fi」が利用できます！

本年5月16日より、総合健診センター「ヘルスポート」の施設内で、公衆無線LANサービス「Wi-Fi」が利用できるようになりましたので、是非ご活用ください。